

ふれあい広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線3052）

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。



「経営労務診断実施企業」の認証を受けた
ヴィーヴコロヤスの皆さん
(後列) 竹下彩美さん、市菌久仁子社長
(前列) 的場美香さん、内藤恵子さん、村上奈千さん

働きやすさは企業の強み

有限会社コロヤス（ヴィーヴコロヤス）は、県内の美容室で初めてとなる「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」の認定と、全国社会保険労務士会連合会が実施する「経営労務診断実施企業」の認証を受けました。

同社は70年余りの歴史がある美容院を経営。「従業員を大切にしたい」という思いで、先代が社長を務める約40年前から、デジタル技術を用いた業務効率化や美容院では珍しい社会保険の完備、育休・短

時間勤務制度の導入など、働きやすい環境づくりに取り組んできました。市菌久仁子社長は、「コストはかかるが、環境を整えることで従業員のやる気が向上し、お客様、会社も含めて三方にメリットがある」と話します。

企業が認証を受けるには、働き方改革や労務関係法令遵守のための積極的な取り組みが必要です。同社の労務管理をする社会保険労務士から申請を勧められ、認証を受けた市菌社長は、自社の取り組みが企業として大きな強みであると感じました。多くの若者が就職で都会へ出て行く今、認証を広く周知することで、美容師にとって魅力ある職場であること、また、育児や介護を理由に現場を離れている美容師が復職しやすい職場であることを知ってもらい、優秀な人材の確保を目指しています。

市菌社長は、「従業員が気持ちよく働くためには会社のサポートが必要。美容師の思いに寄り添い、働き続けたいと思える環境づくりを継続していきたい」と意気込みました。

市民の皆さんのまちづくり活動を紹介します

みんなでまちづくり♪

あつまっ亭感謝祭

▼とき 12月5日（日）午前10時～午後1時
▼内容 チャレンジショップ出店（墨彩画、ハンドメイド、巻きずしやジャムの販売）、地元野菜などの朝市、バルーンアート、ボールすくい
▼ところ・問合せ 黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」（☎28-58800）

第10回黒田庄軽トラ市

▼とき 12月25日（土）午前9時～午後1時
▼ところ 黒つふれあい広場（旧黒田庄地域総合事務所跡地）
▼内容 軽トラとテント内での出店（お正月用品、地元野菜、焼き芋、小餅など）、福引（先着30人/小学生以下の子ども限定）
▼その他 喜多市と同時開催
▼問合せ 黒田庄軽トラ市実行委員会（黒つぷらざ内/☎28-2121）

※いずれも小雨決行、感染拡大防止のため会場では飲食禁止

いきいきにしわきっ子



かずま 和馬 6歳9ヵ月
かずや 和也 4歳8ヵ月
お父さんとお母さんの宝物
和孝・珠末（野村町）

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所秘書広報課へ郵送またはご持参ください。

地域に信頼される良質な医療を提供します

西脇病院

〒677-0043
西脇市下戸田 652-1
☎22-0111 ㊟23-0699

実施中
新型コロナ院内感染防止対策

- ・マスク着用と自宅での検温
 - ・全入院棟への入館を禁止
- にご協力ください



ひだまりサロン

- ▼とき 12月22日（水）午後1時～3時/要申し込み
- ▼ところ 病院講堂（インターネットを利用して自宅から参加することも可）
- ▼対象 がん体験者とその家族
- ▼内容 交流会と作業療法士のミニ講座
- ▼申込方法 前日までにセンター窓口か電話、メール（タイトルは「ひだまりサロン参加希望」）で左記へ
- ▼申込み・問合せ がん相談支援センター（病院内線333）
E-mail: hik@nshp.jp

新しい健診着登場

西脇病院で人間ドックなどの健康診断を受ける際に着用



◀新しい健診着。ネイビーやブラウンの濃い色で、おしやれに

健康バンザイ 184



病理診断科部長
大西 隆仁

組織診断のしくみ

病理の業務の中で大きな比重を占める「組織診断」についてお話しします。

病理診断科では胃や大腸の内視鏡検査で採取された小さな組織を顕微鏡で調べ、良性か悪性かの診断を行います。良性であれば、炎症性病変か腫瘍性病変かを診断します。炎症性病変の中にはクローン病や潰瘍性大腸炎などの疾患も含まれます。良性の腫瘍に腺腫などがあります。腺腫は良性ですが、放っておくとがんに進展したり、腺腫の中に

がんを認めたりする場合があります。そのため、腺腫を見つけた時点で、内視鏡手術等で切除する方がよいとされています。また、胃がんと大腸がんの手術では、がんの組織型（種類）やがん細胞がどこまで広がっているか、周囲のリンパ節に転移はないか、取り切れているのかを診断します。切除した胃や大腸が、まれに肉腫や悪性リンパ腫と診断されると

きもあります。その場合は、免疫染色という特別な染色で診断します。乳がんではホルモンレセプターの免疫染色を行い、その陽性率を調べたり、HER2タンパクの発現を調べたりします。肺がんでは組織系だけではなく、遺伝子の検索をします。

病理診断科は、内臓組織や脳、皮膚、骨、筋肉など体の全てを対象に検査しています。

患者総合支援センター「在宅支援課」はこんなところ

安全・安心な在宅生活の支援を実施



退院後や通院しながらの「在宅生活」に関して、不安に思うことや困り事はありますか。在宅支援課では、西脇病院に通院する患者さんが診察を受けながら、安心して在宅生活を送れるよう支援しています。

例えば、

- ①在宅生活に必要な介護・福祉サービスの情報提供
 - ②介護保険の申請方法の説明や、介護区分の変更の助言
 - ③ケアマネジャーや介護支援サービス事業者などの必要な専門職・機関との連携や情報提供
- などで、患者さんが住み慣れた環境で自分らしく暮らせるよう支援します。西脇病院に通院されていない方の相談にも応じます。お気軽にご相談ください。

◆問合せ
患者総合支援センター在宅支援課（病院内線 339）